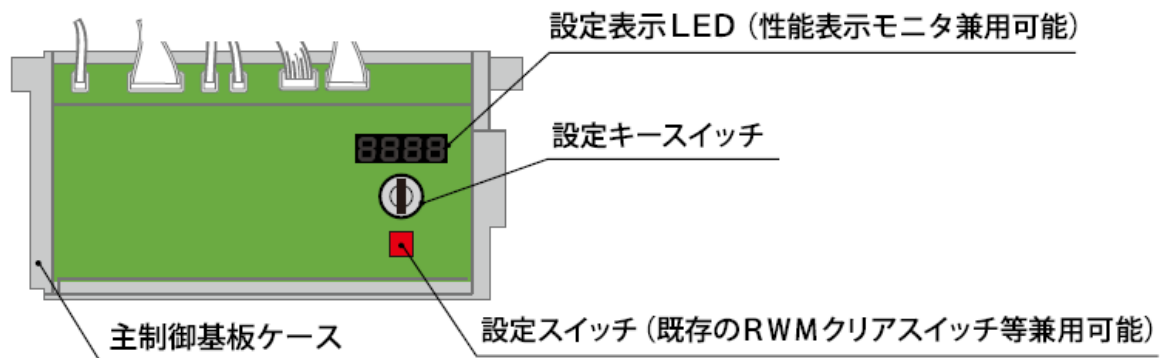


設定変更装置について

平成 30 年 2 月 1 日の新規則施行に伴い搭載可能となる設定変更装置について、操作方法等を分かり易くすること、設定に係る不正を未然に防ぐことを目的に下記の仕様を統一しました。

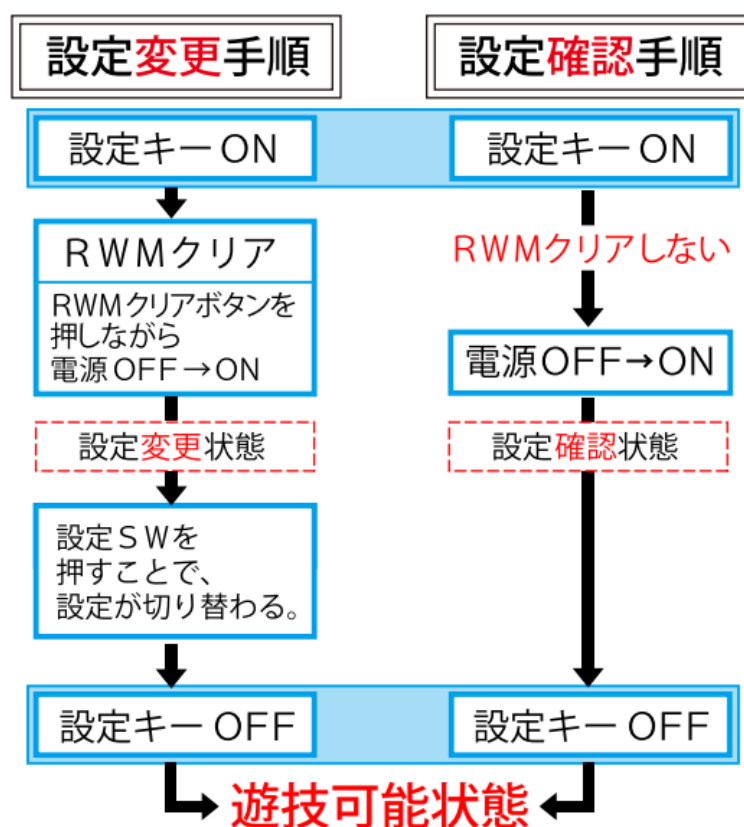
1. 設定変更装置は、設定キースイッチ（新設）、設定スイッチ（既存のRWMクリアスイッチ等兼用可能）、設定表示LED（性能表示モニタ兼用可能）の構造とし、設定キースイッチ及び設定表示LEDは主制御基板ケース内に搭載する。

主制御基板



2. 設定変更手順は、設定キーをONにし、RWMクリア動作（RWMボタンを押しながら電源をOFFからON）を行うことで設定変更状態に移行し、設定スイッチを押すことで設定が切り替わり、設定キーをOFFにすることで、設定変更状態から遊技可能状態になる。

また、設定確認手順は、設定キーをONにし、RWMクリア動作を行わずに電源をOFFからONにすることで設定確認状態に移行し、上記同様設定キーをOFFにすることで設定確認状態から遊技可能状態なる。



3. 設定の表示については、設定変更状態及び設定確認状態時に設定表示LEDで表示を行うこととし、分かり易い表現に努める。なお数字を用いる場合は1から6のいずれかとし、確率が $1 \leq 2 \leq 3 \leq 4 \leq 5 \leq 6$ となるようにする。
4. 設定変更状態及び設定確認状態時は、外部端子板からセキュリティ信号を出力するとともに、音とランプで報知する。